

⊗ 取付・取扱い説明書 ⊗

IOI4C/S/U

SMART SECURITY

注 意 ！

本説明書内に記載のある「拡張取付」を行うには、車両電装及び盗難警報器の取付けに関する専門的な知識と経験が必要です。

本書内「拡張機能編」には車両電装並びに盗難警報器の取扱いに必要な専門用語が使われており、拡張機能取付説明に従った本装置の取付を行うには車両電装および車両整備に関する詳しい知識と技術が必要です。取付は必ず車両電装に関する専門の知識と技術をお持ちの取付店にて行ってください。専門の知識や技術のない方が拡張取付を行うと車両または本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

目次

はじめに	1
安全に正しくお使いいただくための表示について	1
危険	2
警告	2
注意	3
その他の注意	3
梱包物をご確認ください	4
リモコンの各部名称と役割	4
取付けに関する説明(基本編)	6
実態配線図	6
配線説明	6
主要パーツの設置	7
センサーの感度調整及び作動条件	8
取扱いに関する説明(基本編)	9
セキュリティセット(警戒)	9
セキュリティ解除	9
パニックサイレンモード	10
ハイセキュリティサイレンストップ [®] / ハイセキュリティモート [®] チェンジ [®]	10
エラーチャープ	10
警戒中のシステム動作	11
その他の機能	11
取付けに関する説明(拡張編)	12
取付けに関する説明(拡張編)	13
実態配線図	13
配線説明	14
配線説明(続き)	15
拡張機能取扱いに関する説明	16
取扱いに関する説明(拡張編)	17
セキュリティセット(警戒)	17


セキュリティ解除	17
パニックサイレンモード	18
ハイセキュリティサイレンストップ ² / ハイセキュリティモート ² フェンジ ²	18
エラーチャープ	18
警戒中のシステム動作	19
警戒中のシステム動作(続き)	20
その他の機能	20
各種機能の設定	21
機能選択項目説明	22
インテリジェントIGプロテクト(エンジンスターター対応)	22
リモートスタート中確認動作(エンスタ連動ライト)	22
オートアーム	22
Exit ディレイタイムセレクション	22
オートリアーム	22
IIPトリガーセレクション	22
イクステリアイルミネーション(解除点灯機能)	22
リモコン登録方法	23
緊急リセットコード変更方法	24
緊急リセット(解除)の方法	24
Q & A	25
車を点検に出したらリモコンが効かなくなった!	25
出先でリモコンを紛失してしまった!	25
リモコンの電池が切れてしまった!	25
エンジン停止後も冷却ファンが動いてセンサーが反応する!	25
セキュリティセット後数秒で勝手にサイレンが鳴ってしまう!	25
セキュリティはセットされているのに何も反応しない!	25
仕様一覧	26
配線メモ	27
保証・無料修理規定	28


はじめに


この度はVISION1014シリーズをお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前に必ず本書をお読みいただき、正しい取扱い方法によりご使用いただきますようお願いいたします。また、本書は読んだ後も大切に保管してください。

なお、本書は、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守って頂きたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。本装置をお使いいただく前に必ずよくお読みください。

安全に正しくお使いいただくための表示について

 **危険** 人が死亡するまたは重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

 **警告** 人が重傷を負う危険が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

 **注意** 本装置の本来の性能を発揮できなかったり、本装置の故障をまねく内容を示しています。

危険

● 本装置取付け時のバッテリー電源

本装置の取付けを行う場合には必ずバッテリー電源を外した状態で作業を行ってください。電源が外されていない状態で作業を行うと、車両または車両の機器の突発的な動作により重大な事故の原因となります。

● 本装置の設置位置

コントロールユニットを水、湿気、熱、湯気、ほこり、油等の多い場所に保管、設置しないでください。火災、感電、故障の原因になります。

警告

● 本装置の取付け

本装置の取付には車両電装および車両整備に関する詳しい知識と技術が必要です。取付は必ず車両電装に関する専門の知識と技術をお持ちの取付店にて行ってください。専門の知識や技術のない方が取付を行うと車両または本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

● 本装置の設置位置

本装置は車両の機器や他の機器と干渉する場所やそれら機器に影響を及ぼすような場所には設置しないでください。特に車両の機器の性能を損なうような取付けを行うと本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

● 12V車専用

本装置は12V電源専用機器です。24V車への取付けを行うと車両または本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

注 意

● 本装置の固定

本製品は確実に固定してください。固定が不十分であると、故障の原因になったり、性能が十分に発揮されない可能性があります。

● 車両のバッテリー交換

車両のバッテリーターミナルを外す際には必ず本製品の主電源（メインカプラー）を外した状態で行ってください。主電源を接続したままバッテリーを交換すると、登録されているリモコンIDコードが消える等の故障の原因になる可能性があります。

● エアバックや盗難防止機能付ステレオを装備した車両

エアバックや盗難防止機能付ステレオを装備した車両はバッテリーが外されたことを記憶する機能を有していることがあります。この記憶状態をリセットするには専用のID番号が必要となり、その車両を購入したディーラーでなければ解除できないことがあります。

● 取付作業

本製品の取付時は換気と鍵の閉じこめ防止のため窓を開けて作業を行ってください。

その他の注意

● 万一誤った設置や配線、車両電装の知識不足による誤った配線方法により車両の破損、故障が発生しても当社では一切責任は負いかねます。

● 本製品は盗難防止を目的としたシステムですが、本製品の作動の有無に関わらず盗難等の被害が発生しても当社では一切の責任を負いかねます。

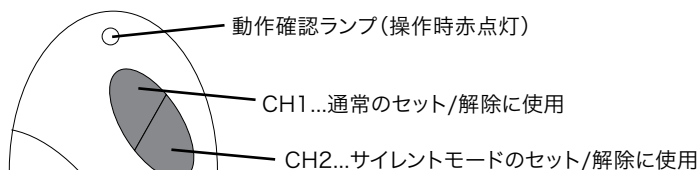
梱包物をご確認ください



その他の梱包物

VISION 防犯ステッカー	X 2	本体設置用両面テープ	X 1
電源用エレクトロタップ	X 1	アース線接続用丸端子	X 1
ギボシオス・被服セット	X 5	本説明書	X 1

リモコンの各部名称と役割

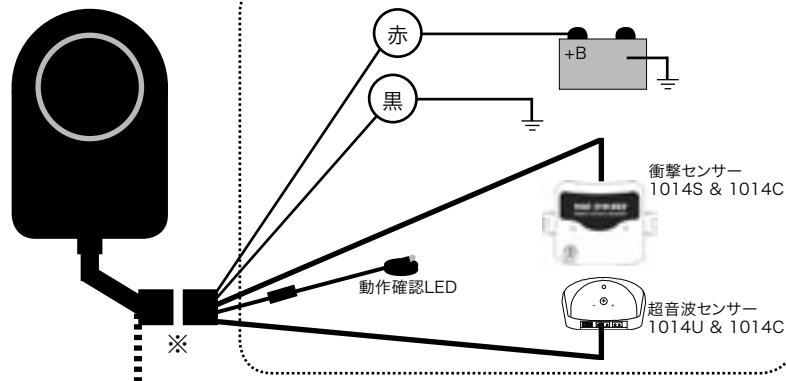


- CH1...セット/解除(確認チャープ音有)
- CH2...サイレントモードによる
セット/解除(確認チャープ音無)
- CH1&CH2同時...センサーバイパスモード
によるセット
- CH1 or CH2長押し...パニックスタート

基本取付・取扱い編

取付けに関する説明 (基本編)

実態配線図



拡張取付(オプション) 販売店へご相談ください。

配線説明

赤色線

+12V常時電源に接続します。(付属エレクトロタップ使用)

黒色線

(-)ボディーアースに接続します。接触不良があると動作不良の原因となりますので確実に固定してください。(付属丸端子使用)

黒色2極カプラ

動作確認用LEDを接続するためのカプラです。付属の動作確認用LEDのカプラを差し込んでください。

白色3極カプラ

超音波センサーを接続するためのカプラです。付属の超音波センサーに差し込んでください。(1014U & 1014Cモデルのみ。)

白色4極カプラ

衝撃センサーを接続するためのカプラです。付属の衝撃センサーに差し込んでください。(1014S & 1014Cモデルのみ。)

※ メインカプラは、全ての配線接続が終了してから差し込んでください。

ヒント

※ 赤色線の接続先は電流容量が十分ある場所を選んでください。常時電源の容量が不足すると衝撃センサー等が連続で反応するなどの不安定動作をおこす可能性があります。このような症状が見られる場合には赤色線の接続先を変更するか、センサー用の電源を専用カプラ以外の所に接続してください。

※ 別売のオプションセンサーを併用する場合には、必ず別売のセンサー・分岐P/Sユニット318-035をご利用ください。

主要パーツの設置

セキュリティ本体

車内の適当な(なるべく犯罪者が見つけにくく、サイレンの音が良く通る)場所に結束バンドや両面テープ等を使って固定してください。

動作確認LED

LEDの台座裏面についている両面テープの保護シートをはがし、お好みの場所に貼付けてください。

2ステージショックセンサー

センサーはボディーへの衝撃を検知するという特性から、取付けは車内プラスチック部品に確実に固定する必要があります。両面テープを使ってしっかりと固定してください。センサーの固定が不十分な場合には、センサー感度の低下や誤作動が起こる可能性があります。

また、次のような場所への取付けは避けてください。

1. 直射日光が当たるような場所
2. 熱源付近
3. 水がかかる場所

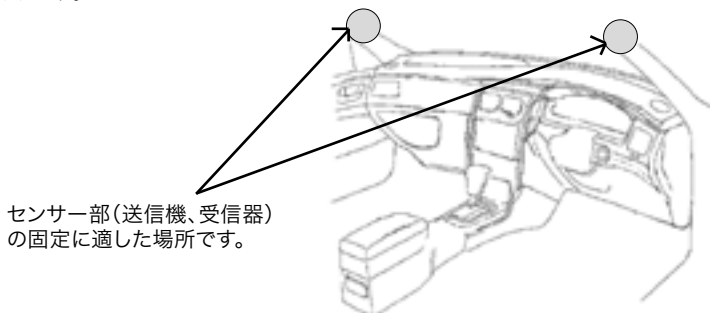
超音波センサー

超音波センサーのコントロール部は他のセンサ(衝撃センサ等)から20cm以上離して設置してください。また衝撃センサー同様に直射日光のあたる場所、熱源付近、水のかかる場所はさけてください。

センサー部(送信機・受信器)は出来るだけ高い位置にしっかりと固定し、動かないようにしてください。センサー部自体が揺れたり、動いたりすると誤報の原因となります。

また、送信機・受信器は直接風が当たる場所(エアイベント)等への取付けは避けてください。

※ヘッドレストのサイズ等の条件により、後部座席のドア開閉が検知しにくくなる事があります。



※送信機・受信器はともに車両前後のラインと平行になるようにまっすぐ後方を向けて設置してください。

センサーの感度調整及び作動条件

超音波センサー(1014U & 1014C)

感度調整

センサーコントロールユニット中央部にある感度調整ネジを回して感度調整します。ネジを時計回りに回すとセンサー感度が敏感になり、逆に回すとセンサー感度は鈍くなります。



ヒント

※ 感度は後部座席で軽く手を振って反応するくらいが適当です。必要以上に感度を高くすると誤報の原因となりますのでご注意ください。

作動条件

車内(ドア及び窓がしっかり閉じられている)で動く物体に反応します。反応感度の目安としては後部座席で軽く手を振った程度が目安です。

本センサーは閉ざされた空間で使用されることを想定していますので、ドアや窓等が開いた状態では絶対に使用しないでください。誤報の原因となります。また、ルーフ部分に幌を使用した車両では風等により幌が動き誤報の原因となる可能性があります。

衝撃センサー(1014S & 1014C)

感度調整

センサーコントロールユニット中央部にある感度調整ネジを回して感度調整します。ネジを時計回りに回すとセンサー感度が敏感になり、逆に回すとセンサー感度は鈍くなります。

本センサーは車両ボディに加えられた瞬間的な衝撃を検知し、衝撃の強弱を判別して警告信号または警報信号を出力しアラームを作動させるためのセンサーです。瞬間的な衝撃を検知するため、適度な感度設定であれば風などによる揺れには反応しません。ただし、台風時の突風や雷、花火、ヘリコプターなどの瞬間的な振動が発生する場合は作動する可能性があります。



ヒント

※ 交通量の多い幹線道路沿いや鉄道の近くなどに駐車する場合、感度が高すぎるとこれらの環境ノイズによって誤報となる可能性があります。使用環境にあわせて適切な感度でご利用ください。

※ センサー感度はセンサー自体の温度変化によっても変動します。

感度は温度が高くなると鈍く、低くなると敏感になり、その差はおおよそ20%程度です。冬季は夏季よりも感度を低くしてご利用ください。

※ センサーが全く反応しない場合、センサーが落とされる等してセンサー内部の振動検知用「ふりこ」が異常な状態で引っ掛かってしまっていることがまれにあります。このような場合にはセンサーケースを開け「ふりこ」を正常位置にもどしてください。

取扱いに関する説明 (基本編)

セキュリティセット (警戒)

通常モードのセット

リモコンのCH1ボタンを1回押します。チャープ音が1回発せられ威嚇用LED(以降LED)が点灯します。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わり、システムが警戒を始めたことを知らせます。LED点灯中にセンサーが反応しても、セキュリティは異常発報しません。



サイレントモードのセット

リモコンのCH2ボタンを押すことにより、システムをサイレントモードでセットすることができます。サイレントモードとはシステム警戒時に異常が検知された場合に車両でのサイレンは一切鳴らさず、ライトの点滅だけで車両の異常を周りに伝えるモードです。
※基本取り付けで使用した場合にはLEDの点滅速度が早くなる以外の動作は確認できません。



センサーバイパスモードのセット

リモコンのCH1とCH2ボタンを同時に押すことにより、システムをセンサーバイパスモードでセットすることができます。センサーバイパスモードとは衝撃センサー及び超音波センサーを一時的に検知しないようにシステムをセットするモードです。
※基本取り付けでこのモードを使用する場合LEDの点滅以外の動作は行いません。



セキュリティ解除

通常の解除

リモコンのCH1ボタンを1回押します。チャープ音が3回発せられLEDが消灯します。



消音解除

リモコンのCH2ボタンを押すことにより、動作確認音を出さずにセキュリティシステムを解除することができます。



パニックサイレンモード

CH1ボタンによるパニック

リモコンのCH1ボタンを3秒以上長押しすることにより意図的にサイレンを鳴動させることができます。このパニックサイレン機能により鳴動したサイレンは30秒間継続します。この30秒間にはサイレン鳴動の他、LEDの急点滅が行われます。



CH2ボタンによるパニック

リモコンのCH2ボタンを3秒以上長押しすることにより、サイレントモードでの異常発報をさせることができます。このパニック機能ではLEDの急点滅が行われず。



ハイセキュリティサイレンストップ / ハイセキュリティモードチェンジ

車両で異常が発生し異常発報している場合、リモコンのボタンを1回押すと異常発報が停止され、警戒は継続されます。セキュリティを解除したい場合には異常発報していない状態でCH1またはCH2ボタンをもう一度押す必要があります。

発報停止と同時にセットモードの変更ができます。通常モードに変更したい場合はCH1、サイレントモードの場合はCH2を使用して発報を停止することによりシステムを解除することなくセットモードの変更が出来ます。

例) 最初通常モードでセットし、異常発報した際にCH2ボタンによりサイレンを停止した場合、発報停止後セキュリティはサイレントモードでの警戒状態になります。

エラーチャープ

通常モードまたはセンサーバイパスモードによるセキュリティ警戒セット時、すでにいずれかのセクター(監視箇所)に信号入力がある場合、最初のチャープ音から3秒後に2回チャープが発せられます。LEDが点灯中にそれらの信号を取り除き正常な状態に戻してください。LEDが点滅を始めると異常信号が入力状態になったままのセクターはバイパスされます。バイパスは異常信号がなくなってから5秒後に復帰します。



注意!

・セキュリティセット時すでに異常となっているセクター(衝撃センサー・超音波センサー)は必ずLEDが点灯中に正常な状態(反応していない状態)にしてください。

※セクターとは監視箇所(ドア、センサー、IG)の総称です。

警戒中のシステム動作

センサー検知

シングルステージ:

付属の衝撃センサーまたはオプションセンサーからの警告信号が入力されるとチャープ音が5回鳴ります(サイレントモードでは鳴りません)。

※センサーバイパスモードでは反応しません。

デュアルステージ:

付属の衝撃センサーまたはオプションセンサーからの警報信号が入力されると30秒間またはリモコンで解除されるまで異常発報します(サイレントモードでは鳴りません)。

※センサーバイパスモードでは反応しません。

その他の機能

セクターバイパス(SBS)機能

同じセクターにより8回異常発報した場合、そのセクターは周囲への迷惑を防止するため9回目以降はバイパスされ反応しなくなります。バイパスを解除するには一度システムを解除し、再度警戒状態にセットする必要があります。

※セクターとは監視個所のことです。

(トリガー)メモリー機能

通常警戒中は0.5秒に1回のゆっくりした点滅を行う動作確認LEDが異常発報と同時に点滅速度が早くなります。LEDの早い点滅はセキュリティが再セットされるまで続きます。メモリー機能が働いた場合は車両に異常が無いか確認してください。

サイレン音圧について

本装置に内蔵しているサイレンはピエゾサイレンです。ピエゾサイレンの本来の目的は高い周波数帯域の音による車内威嚇用です。

本サイレンを車内で聞いた場合聴覚を非常に刺激し、車内にとどまる事を困難にします。しかしながら、本装置をエンジンルーム内に設置した場合にはボンネットが高周波数帯域の音をさえぎるため、音が小さく聞こえます。

上級者向け取付編

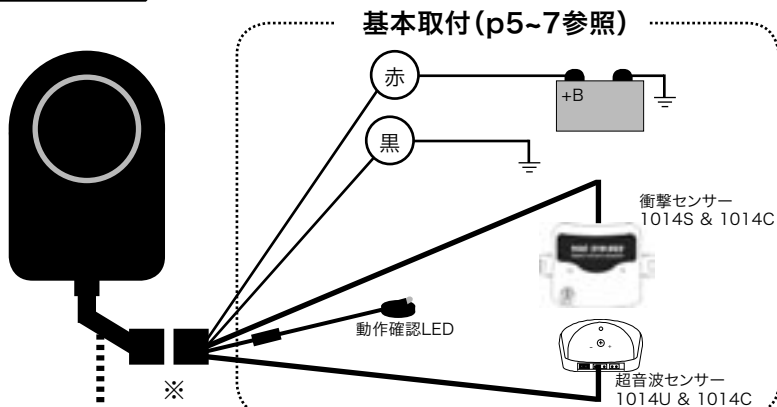
注意！

本ページ以降の説明は拡張取付用で、車両電装及び盗難警報器の取り付けに関する専門的な知識と経験をお持ちになっている方専用です。

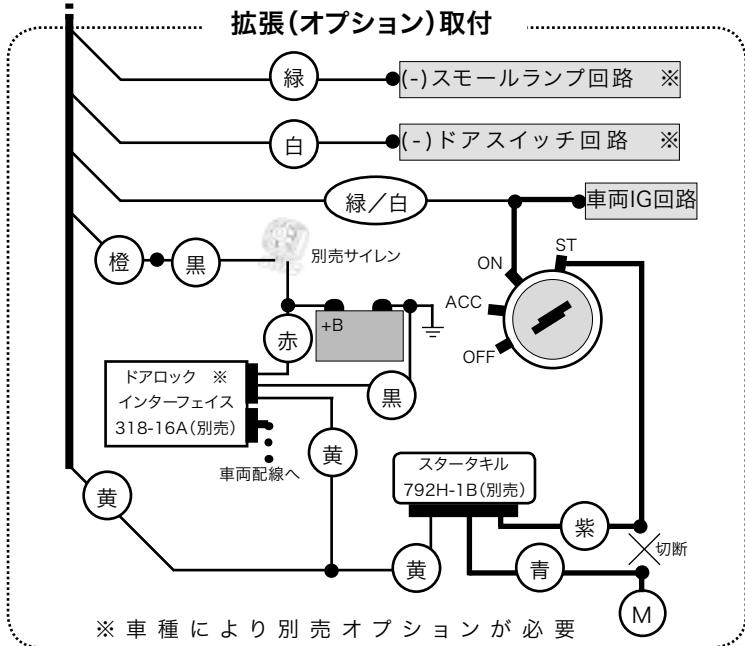
拡張取付の説明には車両電装並びに盗難警報器の取扱いに必要な専門用語が使われており、本説明に従った本装置の取付を行うには車両電装および車両整備に関する詳しい知識と技術が必要です。取付は必ず車両電装に関する専門の知識と技術をお持ちの取付店にて行ってください。専門の知識や技術のない方が取付を行うと車両または本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

取付けに関する説明 (拡張編)

実態配線図



※ メインカブラは、全ての配線接続が終了してから差し込んでください。



配線説明

基本配線

赤色線

+12V常時電源に接続します。

黒色線

(-)ボディーアースに接続します。接触不良があると動作不良の原因となりますので確実に固定してください。

黒色2極カプラ

動作確認用LEDを接続するためのカプラです。付属の動作確認用LEDのカプラを差し込んでください。

白色3極カプラ

超音波センサーを接続するためのカプラです。付属の超音波センサーにを差し込んでください。(1014U & 1014Cモデルのみ。)

白色4極カプラ

衝撃センサーを接続するためのカプラです。付属の衝撃センサーにを差し込んでください。(1014S & 1014Cモデルのみ。)

ヒント



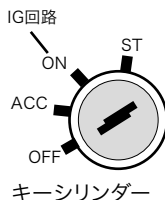
- ※ センサー類の設置方法は基本取付説明(本書P5~7)を参照してください。
- ※ 赤色線の接続先は電流容量が十分ある電線を選んでください。常時電源の容量が不足すると衝撃センサー等が連続で反応するなどの不安定動作をおこす可能性があります。このような症状が見られる場合には赤色線の接続先を変更するか、センサー用の電源を専用カプラ以外の所に接続してください。
- ※ 別売のオプションセンサーを併用する場合には、必ず別売のセンサー・分岐P/Sユニット 318-035をご利用ください。

拡張配線

緑/白色線

(+)IG 信号検知線

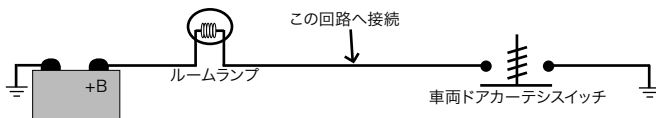
IG回路(ONポジションで+12Vを示す線)へ接続します。セキュリティ機能の設定や、直結による車の乗逃げ防止、エンジンスタータ対応、またリモコン紛失の際の緊急リセットに使用します。



白色線

(-)ドアスイッチ検知線

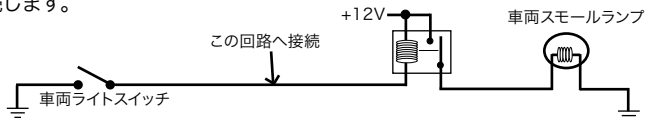
ドアカーテシスイッチ回路(ドアが開いた際にマイナスボディーアースが出力される回路)へ接続します。



配線説明(続き)

緑色線 (-)ライトフラッシュ出力線

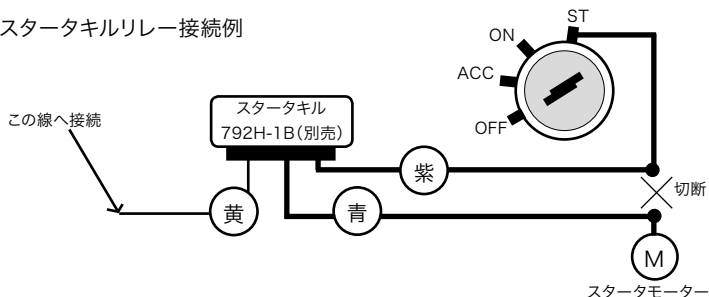
(-)スモールランプ回路または792H2A(別売ハザードリレー)を使用してハザード回路へ接続します。



黄色線 GWA(動作中)出力線

セキュリティがセットされるとアース信号が出力されます。別売のルミネーターやドアロックインターフェイス等、又はスタータキル・イモビライザー等の取付に使用します。

※スタータキルリレー接続例



橙色線 (-)外部サイレン出力線

異常発報時に外部サイレンを鳴動させるための(-)信号線です。(警告時や動作確認時には信号は出力されません)サイレンの黒色線へ接続します。出力最大電流は(-)1Aです。



拡張機能取扱い編

注意！

本ページ以降の説明は拡張取付をされた方専用です。

ご使用のシステムにどのような拡張機能（オプション）が取り付けられているかは、取付を行った販売店へご確認ください。

拡張取付には車両電装および車両整備に関する詳しい知識と技術が必要です。取付は必ず車両電装に関する専門の知識と技術をお持ちの取付店にて行ってください。

取扱いに関する説明 (拡張編)

セキュリティセット (警戒)

通常モードのセット

リモコンのCH1ボタンを1回押します。チャープ音が1回発せられ威嚇用LED(以降LED)が点灯します。ライトフラッシュの配線が施されている場合はスモールランプが1回点滅します。ドアロックの接続がされている場合にはドアがロックされます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わり、システムが警戒を始めたことを知らせます。LED点灯中にドアを開けたり、イグニッションを回してもサイレンは鳴動しません。



サイレントモードのセット

リモコンのCH2ボタンを押すことにより、システムをサイレントモードでセットすることができます。サイレントモードとはシステム警戒時に異常が検知された場合に車両でのサイレンは一切鳴らさず、ライトフラッシュの配線が施されている場合にライトの点滅だけで車両の異常を周りに伝えるモードです。



センサーバイパスモードのセット

リモコンのCH1とCH2ボタンを同時に押すことにより、システムをセンサーバイパスモードでセットすることができます。センサーバイパスモードとは衝撃センサー及び超音波センサーを一時的に検知しないようにシステムをセットするモードです。



セキュリティ解除

通常解除

リモコンのCH1ボタンを1回押します。チャープ音が3回発せられLEDが消灯します。ライトフラッシュの配線が施されている場合はスモールランプが3回点滅します。ドアロックの接続がされている場合にはドアがアンロックされます。



消音解除

リモコンのCH2ボタンを押すことにより、動作確認音を出さずにセキュリティシステムを解除することができます。



パニックサイレンモード

CH1 ボタンによるパニック

リモコンのCH1 ボタンを3秒以上長押しすることにより意図的にサイレンを鳴動させることができます。このパニックサイレン機能により鳴動したサイレンは30秒間継続します。この30秒間にはサイレン鳴動の他、ライトフラッシュの継続とLEDの急点滅が行われます。



CH2 ボタンによるパニック

リモコンのCH2 ボタンを3秒以上長押しすることにより、サイレントモードでの異常発報をさせることができます。このパニック機能によるライトフラッシュの異常発報は30秒間継続します。この30秒間にはライトフラッシュの他、LEDの急点滅が行われます。



ハイセキュリティサイレンストップ / ハイセキュリティモードチェンジ

車両で異常が発生し異常発報している場合、リモコンのボタンを1回押すと異常発報が停止され、警戒は継続されます。セキュリティを解除したい場合には異常発報していない状態でCH1またはCH2ボタンをもう一度押す必要があります。

発報停止と同時にセットモードの変更ができます。通常モードに変更したい場合はCH1、サイレントモードの場合はCH2を使用して発報を停止することによりシステムを解除することなくセットモードの変更が出来ます。

例) 最初通常モードでセットし、異常発報した際にCH2ボタンによりサイレンを停止した場合、発報停止後セキュリティはサイレントモードでの警戒状態になります。

エラーチャープ

通常モードまたはセンサーバイパスモードによるセキュリティ警戒セット時、すでにいずれかのセクター(監視箇所)に信号入力がある場合、最初のチャープ音から3秒後に2回チャープが発せられます。LEDが点灯中にそれらの信号を取り除き正常な状態に戻してください。LEDが点滅を始めると異常信号が入力状態になったままのセクターはバイパスされます。バイパスは異常信号がなくなってから5秒後に復帰します。



注意!

- ・ドア信号入力はドアが一度完全に閉じられるまでバイパスされ、閉じられた後は正常に監視されます。
- ・セキュリティセット時に異常となっているセクター(ドア、センサー)は必ずLEDが点灯中に正常な状態(ドアは閉じる、センサーは反応していない状態)にしてください。

※セクターとは監視箇所(ドア、センサー、IG)の総称です。

警戒中のシステム動作

ドア検知

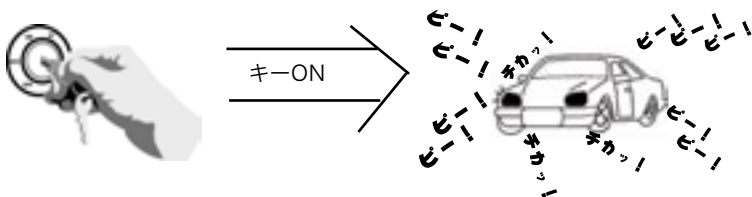
ドアが開けられると30秒間またはリモコンで停止されるまで異常発報します。

セキュリティ警戒中のエンジン始動

モード選択(21頁モード選択表参照)により下記2種類の動作を行います。

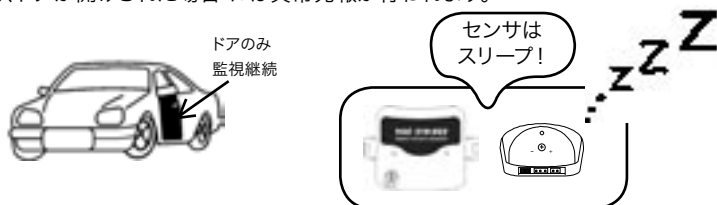
プロテクトモード:

エンジンがかけられると30秒間またはリモコンで解除されるまで異常発報します。



エンジンスターター/ターボタイマー対応モード:

エンジンがかけられるとオプションセンサーはエンジンが停止されるまで無視されます。ただし、このモードが選択されている場合であってもドア線は引き続き監視されますので、ドアが開けられた場合には異常発報が行われます。



インテリジェントIGプロテクト

インテリジェントIGプロテクト(IIP)機能はエンスタモードが選択されていても、警戒中にドア信号またはオプションセンサー信号により異常発報すると、その後再度警戒セットされるまで、エンジン始動で異常発報し乗逃げをガードします。

動作確認LED

警戒中は通常0.5秒に1回のゆっくりした点滅を行います。サイレンが鳴動すると点滅速度が早くなり、警戒が一度解除され再度セットされるかイグニッションがONされるまで続きます。一旦サイレン鳴動が止まっても異常があったことを知らせてくれます。

ヒント

異常発報とはシステムが異常を検知し、サイレン鳴動やライトフラッシュを行う事です。セキュリティが通常セットされている場合には30秒間のサイレン鳴動と、ライトフラッシュを行います。サイレントモードでのセット時にはライトフラッシュのみとなります。

警戒中のシステム動作(続き)

センサー検知

シングルステージ:

付属の衝撃センサーまたはオプションセンサーからの警報信号が入力されるとチャープ音が5回鳴り(サイレントモードでは鳴りません)、スモールライトが5回点滅します。

※センサーバイパスモードでは反応しません。

デュアルステージ:

付属の衝撃センサーまたはオプションセンサーからの警報信号が入力されると30秒間またはリモコンで解除されるまで異常発報します(サイレントモードでは鳴りません)。

※センサーバイパスモードでは反応しません。



GWA(動作中出力)

セキュリティセット中にアースが連続して出力されます。(ルミネーターやスタータキルイモビライザー、ドアロックコントロール等のオプション(別売)をコントロールする場合に使用します。)

その他の機能

スモールランプの点滅

セキュリティセット時→1回点滅、サイレン鳴動中→30秒間点滅、警戒解除時3回点滅、警告時→5回点滅。(※配線がされていない場合には点滅しません。)車両によっては別売の792H-1Cが必要です。また、ハザードを点滅させたい場合には別売オプション792-2Aを使用してください。

セクターバイパス(SBS)機能

同じセクターにより8回異常発報した場合、そのセクターは周囲への迷惑を防止するため9回目以降はバイパスされ反応しなくなります。バイパスを解除するには一度システムを解除し、再度警戒状態にセットする必要があります。

※セクターとはドア、IG、センサー等の監視個所のことです。

(トリガー)メモリー機能

通常警戒中は0.5秒に1回のゆっくりした点滅を行う動作確認LEDが異常発報と同時に点滅速度が早くなります。LEDの早い点滅はセキュリティが再セットされるかセキュリティ解除中にイグニッションがONされるまで継続します。メモリー機能が動いた場合は車両に異常が無いか確認してください。

各種機能の設定

本製品はお客様のご使用される環境に、より適応させるためのモードを準備しています。モード選択の方法は以下の手順に従い、下記表にある回数イグニッションキーをON/OFFさせます。

手順	作業内容
1	リモコンを使って一度セキュリティをセットした後すぐに解除します
2	解除後20秒以内にイグニッション・キーをACCポジションからONポジションへ必要回数動かし、再びACCポジションへ戻します。(20秒以内に必要回数動かししてください。)
3	上記操作終了後ただちにリモコンのCH1ボタンを押します。
スモールランプがON/OFFした回数と同じだけ点滅しモードが変更された事を表示します。	
モード変更完了です。別の項目を変更したい場合は手順1.~4.を繰り返してください。	

※モードは上記手順1.~4.を繰り返すたびに入れ替わります。

モード選択表:

ON/OFF回数	選択機能	選択内容	工場出荷時
3	インテリジェントIGプロテクト/エンスタ対応	ブ ロテ外/インスタ	ブ ロテ外
4	リモートスタート中確認動作	ON/OFF	OFF
8	オートアーム	ON/OFF	OFF
9	Exit デイレタイタイムセレクション	5秒/15分	5秒
10	オートリアーム	ON/OFF	OFF
13	IIPトリガーセレクション	ALL/ドア	ALL
17	イクステリアイルミネーション	ON/OFF	OFF
20	リモコン登録/リセットコードプログラミング	6	



ヒント

異常発報とはシステムが異常を検知し、サイレン鳴動やライトフラッシュを行う事です。セキュリティが通常セットされている場合には30秒間のサイレン鳴動と、ライトフラッシュを行います。サイレントモードでのセット時にはライトフラッシュのみとなります。

機能選択項目説明

インテリジェントIGプロテクト(エンジンスターター対応)

「プロテクト」を選択した場合、システム警戒中にエンジン始動すると異常発報します。
「エンスタ」を選択した場合、エンジン始動中はドア検知以外では異常発報しないため、エンジンスターターとの併用が可能です。

※インテリジェントIGプロテクト(IIP)機能はエンスタモードが選択されていても、警戒中にドア信号またはオプションセンサー信号により異常発報すると、その後再度警戒セットされるまで、エンジン始動で異常発報し乗逃げをガードします。

リモートスタート中確認動作(エンスタ連動ライト)

※この機能はエンジンスターター「対応」設定されている場合に有効です。
「ON」を選択した場合、システム警戒状態でエンジン始動中はスモールライトが点灯し続けます。

オートアーム

「ON」を選択した場合、イグニッションOFF後最後にドアを開閉した時点から20秒経過すると、自動的にセキュリティをセットします。(チャープ音確認、ライトフラッシュは行いません。)

※ドアロックを連動している場合には鍵の閉じ込めに十分注意してください。

Exit ディレイタイムセレクション

「5秒」を選択した場合、システムセット後5秒で全てのセクター(IG、ドア、センサー)の監視を開始します。

「15分」を選択した場合、システムセット後5秒でIG&ドアの監視を開始し、15分後からセンサーの監視を開始します。

オートリアーム

「ON」を選択した場合、セキュリティを解除した後60秒以内にドアが開けられるか、イグニッションキーがONされない場合には自動的にセキュリティを再セットします。

※ ドアロックの解除に連動してルームランプ等が点灯する車両では利用できません。

IIPトリガーセレクション

エンスタ「対応」モードが選択されている場合にセキュリティが異常発報すると、その後再度警戒セットされるまで自動的にプロテクトモードになる機能(インテリジェントIGプロテクト)の自動モード切り替え条件を設定します。

「ALL」を選択した場合、ドア、センサー反応いずれの異常発報でもモード切替します。

「ドア」を選択した場合、ドア開けによる異常発報でのみモード切替します。

イクステリアイルミネーション(解除点灯機能)

「ON」を選択した場合、解除時のスモールランプ点滅(3回)後スモールランプが点灯します。スモールランプは30秒間またはドアが開くか、IGがONになるまで点灯します。

※ ドアロックの解除に連動してルームランプ等が点灯する車両では利用できません。

リモコン登録方法

本製品はリモコンを任意で最大3個(標準付属のリモコン以外に2個)まで登録可能です。リモコンの登録は下記手順に従って行うことができます。

手順	作業内容
1	リモコンを使って一度セキュリティをセットした後すぐに解除します
2	解除後20秒以内にイグニッション・キーをACCポジションからONポジションへ20回動かし、ACCポジションへ戻します
上記操作終了後、動作確認LEDが20回点滅しリモコン登録モードになった事を表示します。	
3	動作確認LED点滅終了後10秒以内に登録したい全てのリモコンのCH1ボタンを押します。リモコン操作の都度、登録完了の確認チャープ音が1回とスモールランプが1回点滅します。 ※登録できなかった場合は一旦登録モードを終了し、再度行ってください。
4	上記ステップ3に続いてイグニッション・キーをACCポジションからONポジションへ動かし、すぐにOFFにします。
確認のため登録されているリセットコード数だけLEDが点滅します。 その後登録モード終了の確認チャープ音が3回とスモールランプが3回点滅します。	



ヒント

リモコン登録モードは3個目のリモコンが登録されると、自動的に終了します。その際の動作は、登録する3個目のリモコン登録確認のチャープに続いて登録モード終了の確認チャープ音が3回とスモールランプが3回点滅します。

緊急リセットコード変更方法

本製品は電池切れや紛失等でリモコンが使用不可能な場合に、緊急リセットによりシステムをリセット(解除)することができる機能を搭載しています。
セキュリティ性向上のため本製品をご使用される前に必ず緊急リセット用コードの変更を下記手順に従って行ってください。

※工場出荷時の緊急リセットコードは6です。

手順	作業内容
1	リモコンを使って一度セキュリティをセットした後すぐに解除します
2	解除後20秒以内にイグニッション・キーをACCポジションからONポジションへ20回動かし、ACCポジションへ戻します
上記操作終了後動作確認LEDが20回点滅します。	
3	イグニッション・キーをACCポジションからONポジションへ動かしそのままにします。
4	動作確認LEDが約20秒間点灯した後ゆっくりと点滅を始めます。点滅回数は1~30回です。自分が登録したい緊急リセットコード(1~30)と同じ数だけ点滅するのを数えます。
5	ご希望の緊急リセットコードと同じ数だけ点滅したら、すぐにイグニッション・キーをOFFポジションへ戻します。
確認のため登録されたリセットコード数だけLEDが点滅します。 その後登録モード終了の確認チャープ音が3回とスモールランプが3回点滅します。	

注意!

- ・登録した緊急リセットコードは絶対に忘れないようにしてください。
- ・スモールランプの点滅はライトフラッシュの配線がされている場合のみとなります。

緊急リセット(解除)の方法

※ 緊急解除機能を使用するには、ドア信号入力線及びIG信号入力線が接続されている必要があります。

手順	作業内容
1	セキュリティ警戒中にドアを開け異常発報させます。
2	異常発報中にイグニッションキーを任意に登録した緊急リセットコードの回数ACC⇔ONの間で動かし、(ドアは開けたままの状態で行ってください)
30秒間の異常発報停止後セキュリティが解除されます。	

Q：車を点検に出したらリモコンが効かなくなった！

A：車両点検作業の際にバッテリーを外す等して電源ラインにノイズが発生すると、まれにリモコンのメモリーが消えてしまうことがあります。バッテリーを外す前に、必ず本体のメインカプラーを抜いてから作業を行ってください。

☞ 拡張取付でドア検知線とIG検知線が配線されている場合には一旦メインカプラーを外し、再度接続します。電源が再投入されるとセキュリティは必ずセット状態となりますので、緊急解除コードを使用してセキュリティを解除します。すぐに続けてリモコン登録モードに入り、リモコンの再登録を行ってください。

☞ 基本取付で使用されている場合には販売店へご相談ください。

Q：出先でリモコンを紛失してしまった！

A：☞ 拡張取付でドア検知線とIG検知線が配線されている場合には緊急解除コードを使用してセキュリティを解除することができます。解除方法は本説明書24ページの「緊急リセットの方法」を参照してください。

☞ 基本取付で使用されている場合には販売店へご相談ください。

※ 新しいリモコンを登録した時点で、紛失したリモコンは使用できなくなります。

Q：リモコンの電池が切れてしまった！

A：本製品のリモコンには一般的なCR1616型ボタン電池が使用されています。お近くのコンビニエンスストアやホームセンター等でお買い求めください。

Q：エンジン停止後も冷却ファンが動いてセンサーが反応する！

A：「Exit ディレイタイムセレクション」を15分に設定することでセンサーの監視開始時間をセキュリティセット後15分にすることができます。詳しくは本説明書21ページおよび22ページを参照してください。

基本取付をされている場合には販売店へご相談ください。

Q：セキュリティセット後数秒で勝手にサイレンが鳴ってしまう！

A：付属の超音波センサーと衝撃センサーが近くに設置されているために、センサー同士が干渉合っている可能性があります。本説明書7ページ「主要パーツの設置」を参照してセンサー同士の距離を20cm以上あけて設置してください。

Q：セキュリティはセットされているのに何も反応しない！

A：セキュリティセットの際にリモコンボタンCH2を使用していませんか？CH2を仕様するとシステムはサイレントモードでセットされるため取付内容によっては何も反応していないように感じる場合があります。（本説明書9ページ「サイレントモードのセット」をご参照ください。）

仕様一覧

セキュリティ本体仕様:

定 格 電 圧	DC12V
消 費 電 流	待機時5mA、警報時80~130mA
動 作 周 囲 温 度 範 囲	-40℃ ~ 110℃
内 蔵 サ イ レ ン 音 圧	115dB
音 色	1音色
防 水 構 造	防滴

リモコン(TX-23)仕様:

リ モ コ ン 電 池	CR1616 2個
リ モ コ ン 電 池 平 均 寿 命	通常使用(1日10回程度)で約1年
リ モ コ ン 操 作 距 離	見通し最大20m
I D コ ー ド 数	7,378京通り以上
I D コ ー ド 保 護 機 能	ローリングコード
防 水 構 造	1.8m防水

衝撃センサー(318-052)仕様:

定 格 電 圧	DC12V
消 費 電 流	約7.8mA
動 作 周 囲 温 度 範 囲	-5℃ ~ 65℃
振 動 検 知 方 式	赤外線方式
防 水 構 造	なし

超音波センサー(318-04)仕様:

定 格 電 圧	DC12V
消 費 電 流	約6mA
動 作 周 囲 温 度 範 囲	-5℃ ~ 65℃
動 体 検 知 方 式	超音波方式
防 水 構 造	なし

配線メモ

取付後のトラブルチェック等のための大切な情報となりますので、取り付けを行った車両名、車両型式、車両年式、配線部位、配線色、ユニット設置場所等をご記入ください。

車両名：

.....

車両型式：

.....

車両年式：

.....

配線箇所/ユニット設置場所/接続オプション

車両電線色

衝撃センサー

超音波センサー

動作確認LED

赤線

黒線

緑/白線

白線

緑線

黄線

橙線



《保証・無料修理規定》

- 1:本製品の保証期間はご購入日より1年間です。
- 2:取り扱い説明書の注意に従った正常な使用状態で保証期間中に万一故障した場合は、ご購入の販売店にて無料修理いたします。
ただし、出張修理の場合は実費を申し受けます。
- 3:保証期間内に故障して無料修理をご依頼になる場合には、商品と本書をご持参の上、ご購入の販売店にてご依頼ください。保証書のない場合には保証対象外となります。又、必ずご購入レシートを添付して下さい。
- 4:ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるご購入の販売店に修理をご依頼できない場合には、当社へ直接お送りください。
- 5:本製品は持ち込み修理品となりますので、商品をお送りいただく際の送料及び取外し、取付費用は、お客様のご負担にてお願い申し上げます。
- 6:保証期間内でも次の場合は有償となります。
 - リコン電池等の消耗品の交換
 - 使用上、取付上の誤り、不注意による故障及び損傷
 - 不当な修理、改造による故障及び損傷
 - ご購入後の落下等による故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害、塩害等による故障及び損傷
 - 普通乗用車以外に使用された場合の故障及び損傷
 - 本書のご提示がない場合または保証書記載事項に不備のある場合
 - 本書におご購入日、購入者名、販売店名の記入のない場合、字句を書き換えた場合
- 7:本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)
- 8:本書は再発行は致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。



注意!

- ・この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ・保証期間経過後の修理等についてご不明な点は、ご購入の販売店へお問い合わせください。
- ・各記入欄に必要事項の記載のない保証書は無効となりますので、記入の有無をご確認の上漏れ事項がある場合は、直ちにご購入の販売店にてお申し付けください。

発売元 辰巳屋興業株式会社
〒466-8711 愛知県名古屋市昭和区白金三丁目20番地15号
製造元 VISION